



令和 8 年1月 29日
認定こども園 幸町保育園

クラスだよ

いすぐみ

まだまだ、寒い日が続く今日この頃。子どもたちは窓から雪が降るのを眺めて喜んだり、冬の歌を楽しんだりしながら毎日元気に過ごしています。また、登園すると、どの子も自らお部屋の中に入って、おうちの方にバイバイと手を振る姿がとてたくましく、成長したなと微笑ましく思いながら見守っているところです。さて、1月は感染症の流行にひやひやとした日々が続きましたね。しかし、まだまだ油断はできない状況です。特に一番小さなクラスですので、引き続き、体調の変化に十分留意しながら過ごしていきたいと思います。それから、進級も近づいてきました。持ち物で新しく用意して頂く物があります。写真掲示等で、2月上旬からお知らせしたいと考えていますので、ご不明な点はお声がけください。



友だちと一緒に

友だちへの意識が増してきて、名前と顔が一致してきている様子です「～ちゃんは、どこ?と聞くと、指差しをして教えてくれます。逆に、子どもたちの方から、お友だちを指差しながら、保育者になんらかのアピールがあったりし、私たちとのやり取りの中に友だちの存在が入ることが多く見られるようになってきました。保育者と思い共有すると、満足そうな表情をしています。低月齢児さんもみんなの所に交じりたくて、一生懸命ついでにこうとする姿があり、微笑ましく思いながら見守っているところです。また、月齢差や個々の生活リズムを大切にしている時期でもあり、一緒に活動できない場合もありますが、みんなで一緒にいられる時はそんな気持ちも大事にしながら過ごしていきたいと思っています。

いす組 news



ゆきあそび

1月は一度だけ、雪が降り積もって、更に暖かかった日を逃さず、高月齢児さんは、雪あそびをすることができました。おうちの方が用意してくださった防寒着に身を包むと、なんて可愛いんですよ。他クラスの職員にも大好評。沢山声を掛けられながら、いざ園庭へ...慣れない防寒着と雪でもへっちゃら!それよりも好奇心の方が勝ったようで、ずんずんと雪の中に入っていくりす組でした。みんな、たくましいね~と、またまた褒められていました。また、暖かい日を逃さずにあそびたいと思います。



赤ちゃんの豆知識

子どもは大人より“汗っかき”で暑がり

冬といっても、子どもたちは、沢山体を動かしているの、元気いっぱい。室内でも汗をかくほど動くことは珍しくありません。活動量が多い子どもたちは、裏起毛の服を着ていると保温されすぎて、さらに汗をかきやすくなります。しかも汗も吸わないため、体温調節がうまく機能なくなってしまいます。一般的に子どもは大人より一枚少ない服装でちょうどいいと言われています。「手足が冷たい!」と心配になることもありますが、体を触って冷えていなければ大丈夫。体温はしっかり保たれています。厚着をさせず、動きやすさを優先してあげるのがポイントです。園内は床暖房が入っているの、特に午睡明けは着すぎていると、真っ赤になって汗をかいていることもあります。気になる時は、こちらで衣服調節をさせていただきたいと思います。

参照：産業保健新聞

保育参加があります!!

日時：2月5日(木) 15:30~

今回の保育参加は、普段の生活の中の様子を入れつつ、体操や触れ合いあそびをしたいと思っています。春からできることが増えてきているので、遊びの幅も広がってきています。成長した姿と一緒に喜び合いながら、楽しいひと時を過ごすことができたらいいなと、思っています。

おうちのかたにも、沢山体を動かしてもらいたいと思っていますので、よろしくおねがいします。

